
基礎老化学会サーキュラー 第 117 号

日本基礎老化学会 Japan Society for Biomedical Gerontology

2021年6月25日 発行



石神新理事長の掲げる「若手研究者・女性研究者の活躍する日本基礎老化学会へ」のスローガンのもと、新体制がスタートしました。サーキュラーの執筆も、清水前理事に代わり三浦ゆりが担当いたします。日本基礎老化学会では、時代に合わせた魅力ある学会を目指して、様々な改革を進めていきます。今年度から、新しく日本基礎老化学会公式 Twitter が始まりました(https://twitter.com/JSBMG_Rouka)。これからも引き続きご支援をお願いするとともに、会員のみなさんからの学会改革へのご意見・ご要望を事務局へお寄せ下さい。

庶務理事 三浦 ゆり

【目次】

1. Topics

- ① [新体制スタート](#)
- ② [会議のオンライン化が決定](#)
- ③ [第 44 回 日本基礎老化学会大会が開催される](#)
- ④ [日本基礎老化学会奨励賞を 4 名が受賞](#)
- ⑤ [学術集会に会計監査を導入](#)
- ⑥ [基礎老化学会 公式 Twitter 始めました](#)
- ⑦ [「基礎老化研究」誌執筆料のルールが変更](#)

2. 議事録

- ① [2021 年度 第 1 回理事会議事録](#)
- ② [2021 年度 第 2 回理事会議事録](#)
- ③ [理事会メール審議議事録](#)

3. 事務局からのお知らせ

- 4. [日本基礎老化学会関連行事 今後の開催予定](#)
- 5. [会員動向](#)
- 6. [賛助会員一覧](#)

1. Topics

① 新体制スタート

理事会、評議員会、総会を経て 2021 年度・2022 年度の学会役員が承認され、新体制がスタートしました。

石神理事長、丸山副理事長、三浦庶務理事、内田会計理事、石井編集理事、大澤監事、細川監事

理事・理事補佐・評議員・各種委員会委員は[コチラ](#)

② 会議のオンライン化が決定

石神理事長の提案で、2021 年度の理事会、評議員会、総会のすべての会議がオンラインで開催されることが決定しました。

③ 第 44 回 日本基礎老化学会大会が開催される

第 44 回 日本基礎老化学会大会（大会長：丸山副理事長）・第 32 回日本老年学会が開催されました。2021 年 6 月 11 日（金）の合同会シンポジウムは WEB オンデマンド開催、6 月 12 日（土）～13 日（日）の当分科会はいち健康プラザでのオンサイト開催と ZOOM による双方向配信のハイブリッド形式で行われました。コロナ禍もありオンサイトの参加者は 1 日約 30 人でしたが、オンラインの強みを活かし全国から多くの参加者が視聴しました。

第 32 回 日本老年学会総会の合同セッションにおいて、辻 将吾さん（国立長寿医療研究センター研究所）が最優秀賞を受賞しました。

第 44 回 日本基礎老化学会大会において、Most Impressive Presentator に以下の 5 名が選ばれました。

伊藤 孝 （理化学研究所）

小林 天美（東京大学）

杉山 悠真（国立長寿医療研究センター研究所）

森 亮一 （長崎大学）

渡辺 信博（東京都健康長寿医療センター研究所） （敬称略・五十音順）

④ 日本基礎老化学会奨励賞を 4 名が受賞

理事、評議員、大会関係者による投票の結果、第 44 回 日本基礎老化学会大会において以下の 4 名が奨励賞を受賞しました（投票数 37 票）。

飯村 佳織（東京都健康長寿医療センター研究所）

小林 天美（東京大学）

辻 将吾 （国立長寿医療研究センター研究所）

長野 太輝（神戸大学） （敬称略・五十音順）

⑤ 学術集会に会計監査を導入

年次集会、シンポジウム、市民フォーラム、海外交流など、日本基礎老化学会関連行事の予算執行について、学会監事による監査を行うことが決まりました。

⑥ 公式 Twitter 始めました

広報・ホームページ委員会が中心となり、日本基礎老化学会の公式 Twitter をオープンしました。みなさん、ぜひフォローしてください。

https://twitter.com/JSBMG_Rouka

⑦ 「基礎老化研究」誌 執筆料のルールが変更

これまで「基礎老化研究」の執筆料は、非会員で総説を執筆した著者に支払われており、学会員に対して執筆料が支払われることはありませんでした。編集委員会の提案で、「総説」の著者で理事・評議員以外の学会員に限り、執筆料が支払われることが決まりました（1 原稿につき 1 名）。

2. 議事録

① 2021 年度 第 1 回日本基礎老化学会理事会議事録

日 時：2021 年 4 月 15 日（木）15：30-16：30

開 催：WEB 開催（ZOOM）

出席者：石神（理事長）、石井、遠藤、内田、柿澤、杉本、丸山、三浦
（以上理事）、海野、細川（以上監事）

1. 理事長の承認

会則 12 条に従い、全会一致で石神理事が理事長に承認された。

2. 役員の任命と各種委員会委員長の委嘱

副理事長、庶務理事、会計理事、編集理事が任命され、各委員会委員長が委嘱された。

庶務理事補佐、会計理事補佐、各委員会の委員が承認された。

副理事長	丸山 光生（国立長寿医療研究センター）
庶務理事	三浦 ゆり（東京都健康長寿医療センター研究所）
会計理事	内田 さえ（東京都健康長寿医療センター研究所）
編集理事	石井 恭正（東海大学）

編集委員会	石井 恭正（委員長・東海大学）
広報・ホームページ委員会	杉本 昌隆（委員長・国立長寿医療研究センター）
学術交流委員会	柿澤 昌（委員長・京都大学）
あり方委員会	遠藤 昌吾（委員長・東京都健康長寿医療センター 研究所）
選挙管理委員会	町田 修一（委員長・順天堂大学）
庶務理事補佐	森 亮一（長崎大学）
会計理事補佐	安田 佳代（東海大学）

3. 理事長推薦理事の追加

理事長から以下の2名が推薦され、承認された。

千葉 卓哉（早稲田大学）、福井 浩二（芝浦工業大学）

4. 2021年度理事会、評議員会、総会のオンライン開催について

石神理事長から、新型コロナウイルス蔓延のため、また予算削減のため、今年度のすべての理事会、評議員会、総会をオンライン開催にする旨の提案があった。

- ✓ 総会を開催する場合、コンピューターがない会員のために事前に資料を送って、事務局が質問に答える等の対応が必要（委任状を強いるのは避けるべき）。
- ✓ 資料を送って事前に意見を集めることも必要（総会は会員の意思表示の場である）。
- ✓ 事前に意見を集める場合、文書の意見を総会に反映させる方法を決めることが必要。

→ 2021年度の理事会、評議員会、総会のすべてをオンライン開催にすることが承認された。

総会については、事前に会員に資料を送付する方向で進める。

理事会、評議員会、総会は、第44回日本基礎老化学会大会当日ではなく、別日に開催する予定。

5. 第44回日本基礎老化学会大会の進捗状況と感染対策について

・丸山大会長から、会場変更（あいち健康プラザへ）やすべてのプログラムについてオンライン配信をする旨、報告があった。

・感染予防は、「まん延防止等重点措置」によるイベント開催制限以上のレベルで対策を講じる。

- Q: 基礎老化学会大会に参加申し込みをすれば、合同学会シンポジウムも視聴することができるのか。
- A: できる。基礎老化学会はオンライン配信だが、合同学会はオンデマンド配信なので、視聴時間を調整することができる。ID や PW は、合同学会大会事務局と協議中であり、それぞれ異なる可能性もある。
- Q: 基礎老化学会大会の一般演題で、座長、発表者、参加者すべてがオンラインということもありうるのか。
- A: 座長、発表者、参加者とも、参加形態（オンサイト、オンライン）を選べる。参加登録をした人すべてに、オンライン参加のための ID と PW を送付する予定。

6. 次回理事会（5 月中に開催予定）

② 2021 年度 第 2 回日本基礎老化学会理事会議事録

日 時：2021 年 5 月 21 日（金）13：30-15：30

開 催：WEB 開催（ZOOM）

出 席 者：石神、石井、内田、遠藤、柿澤、杉本、千葉、福井、丸山、三浦
（以上理事）、海野、細川（以上監事）、森（庶務理事補佐）

欠 席 者：安田会計理事補佐、町田選挙管理委員会委員長

最初に石神理事長から挨拶があり、千葉理事、福井理事、森庶務理事補佐、安田会計理事補佐、町田選挙管理委員会委員長が紹介された。

報告事項として、以下の報告があった。

1. 第 1 回理事会議事録

三浦庶務理事が第 1 回理事会議事録について報告した。

2. 2020 年度会計報告

内田会計理事が 2020 年度収支計算書について報告した。

細川監事から学会会計と基金の通帳を分けるべきとの意見があり、今後それぞれ別の通帳にする意向であることが報告された。

3. 2020 年度会計監査報告

海野監事、細川監事から、学会の会計事務が適正・適切に行われていることを確認した旨、報告があった。

4. 第 44 回（2021 年）大会準備状況報告

丸山大会長から大会の準備状況の報告があり、コロナ対策やオンライン参加の方法について説明があった。

Q: オンライン参加のための ID や PW はいつ頃配布されるか？

A: 6 月 7 日の週に予定している。

Q: 名誉会員は無料で参加できるか？

A: 参加できるように検討している。

5. 第42回（2021年）シンポジウム準備状況報告

シンポジウム世話人の嶋本評議員に代わり石神理事長から、第2回市民フォーラムと第42回シンポジウムが11月27日（土）、28日（日）に山陽小野田市で開催されることが報告された。

6. 第45回（2022年）大会準備状況報告

大会長である細川監事から、2022年7月27日（水）、28日（木）にメルパルク京都で開催されることが報告された。日韓合同シンポジウムの開催についても検討する。同時期に開催されるSAM協議会とは、日程が一部重なるが、会場となるフロアーが異なる。

7. 第43回（2022年）シンポジウム準備状況報告

シンポジウム世話人の小野悠介会員（熊本大学）に代わり石神理事長から、2022年秋に熊本で開催されることが報告された。

8. 編集委員会報告

石井委員長から、編集委員会の活動状況と「基礎老化研究」誌の編集状況について報告があった。第44回大会では、奨励賞について「学生」と「若手」を区別しないため、45（3）号と46（1）号のトピックス（奨励賞受賞者が執筆）が変更になることが説明された。また、第45回大会は7月開催のため、46（2）号は6月発行になる予定であることが説明された。

9. 広報・ホームページ委員会報告

杉本委員長から、Twitterの試用を行ったこと、学会ホームページのセキュリティを高めるためhttps化したこと、ホームページをリニューアルするため3社から見積もりを取り検討中であることが報告された。

10. 学術交流委員会報告

柿澤委員長から活動報告として、2022年に日韓合同シンポジウムを日本側主催で開催する予定であること、また委員会で、コロナ禍・コロナ後を見据えた学術交流のための提案を行っていくことが報告された。

Q: 韓国以外の外国とは、交流する予定はないのか？

A: 今のところない。

11. あり方委員会報告

遠藤委員長から、事務局のアウトソーシング、理事の任期見直し、若い会員に積極的に学会活動に関与してもらう方策、源泉税の納税などについて、話し合ったことが報告された。

12. 選挙管理委員会報告

町田選挙管理委員会委員長に代わり石神理事長から、選挙管理委員会委員長の引き継ぎがあったことが報告された。

13. 事業者登録と源泉徴収税の納税について

三浦庶務理事から、今年度から行われる事務委託に並行して税理士を委託し、事業者登録及び源泉税の納税を行う予定であることが報告された。

審議事項として、以下の3項目が審議された（投票数9票）。

1. 2021年度予算

内田会計理事が2021年度予算について説明した。採決（賛成：9票、反対：0票）により可決された。

2. 年次学術集会及びシンポジウムにおける会計監査実施について

石神理事長が会計監査実施について背景と方針を説明し、運営細則の変更と「日本基礎老化学会関連行事会計監査内規」作成の提案が行われた。

✓ これまで別会計で行ってきた大会についても監査を実施するのは締め付けられる気がする。

✓ 大会会計を学会会計に含めてはどうか。

→ 将来的に、大会長の負担を減らすためにはその方がよいが、当面はこのまま別会計で行う。

✓ 大会長のなり手がなくなるのでは？

→ 赤字になった場合に学会から補填できるような仕組みを目指し、大会長の負担を軽減したい。

✓ 業務委託で、大会の会計もやってもらうのはどうか。

→ 業務委託の契約外になるため高額な費用がかかり、現実的ではない。

✓ 合同会と単独会では会計の規模が違うので、分けて考えるべき。

採決（賛成：8票、反対：0票、棄権：1票）により可決された。

3. ツイッターの公式化について

試用Twitterを公式化することについて審議した。

採決（賛成：9票、反対：0票）により可決された。

次回理事会は、来年1月の予定。緊急な案件は、臨時理事会の開催、またはメール審議を行う。

③ 理事会メール審議議事録（「基礎老化研究」誌 執筆料について）

日 時：2021年6月7日（月）～6月18日（金）

参加者：石神、石井、内田、遠藤、柿澤、杉本、千葉、福井、丸山、三浦

石井編集理事より「基礎老化研究」の学会員の著者に執筆料を支払うことについて提案があり、学会員への執筆料の支払いについて、また執筆コラムや金額等についてメール審議を行った。

下記の項目について採決を行った（投票数9票）。

1. 学会員に対して基礎老化研究誌の執筆料を支払う
A. 賛成 9票 B. 反対 0票 C. 棄権 0票
2. 理事・評議員以外に支払う と、3. 理事以外に支払う では
A. 2に賛成 5票 B. 3に賛成 4票 C. 棄権 0票
4. 特集企画の「総説」執筆者（1名/原稿）に対して支払い、その他のコラムや原著論文の執筆には支払わない
A. 賛成 9票 B. 反対 0票 C. 棄権 0票
5. 金額は非会員と同額支払う（現行は1万円）
A. 賛成 9票 B. 反対 0票 C. 棄権 0票
6. 執筆料は学会予算から支出する
A. 賛成 9票 B. 反対 0票 C. 棄権 0票

以上より、「理事・評議員以外の学会員が特集企画の「総説」を執筆した場合に、執筆料を支払う（1名／原稿）。金額は非会員と同額で、学会予算から支出する」ことが、理事会で承認された。

3. 事務局からのお知らせ

会員事務、学会事務等についてのお問い合わせは以下の本会事務局へお願いします。本学会をより良いものにするためには会員の協力が不可欠です。学会への要望等についても遠慮なく事務局へお寄せください。お待ちしております。

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35-2
東京都健康長寿医療センター研究所内
日本基礎老化学会事務局
FAX: 03-3579-4776
e-mail: secretariat@jsbmg.jp

【日本基礎老化学会入会のご案内】

入会希望の方は、日本基礎老化学会 web site (www.jsbmg.jp/contact.html) に掲載されている入会申込書 (MS Word 版) に記入し、事務局へ e-mail か郵便で送付してください。学生会員として入会の場合は、学生証などを PDF ファイルで添付してください。

【会費納入のお願い】

会費は正会員が 7,000 円 (理事 15,000 円、評議員 10,000 円)、学生会員は無料 (2021 年 4 月 1 日から) です。未納分についての確認は、事務局 (secretariat@jsbmg.jp) にお問い合わせください。

※学生会員は学生であることを証明できる書類を提示してください。大会に参加する場合は事務局受付での学生証明書提示も可能です。

【銀行振込の場合】 ← 振込口座が変更になりました

銀行振込の場合は、振込者の名前が事務局に通知されません。お手数ですが、振込んだ際には事務局にお知らせください (secretariat@jsbmg.jp)。

三菱 UFJ 銀行 (銀行コード 0005)
大山支店 (支店番号 187)
普通 0559515
名前 (口座使用者) : 日本基礎老化学会

6 月 25 日以降、みずほ銀行にお振込みの場合は、事務局までご連絡ください。

【郵便局利用の場合】

郵便局間の振込
口座記号番号 00170-3-46043

加入者名 日本基礎老化学会

他金融機関からゆうちょ銀行に振り込む際の振込用口座番号

〇一九（ゼロイチキュウ）店 当座 0046043

【基礎老化研究誌講読について】

学会年会費には、簡易印刷版（白黒版）基礎老化研究誌購読料が含まれています。フルカラー版は学会 HP からダウンロードしてご利用ください。全会員にはパスワードを配布しています。パスワードが不明の方は事務局

(secretariat@jsbmg.jp) にお問い合わせください。

【日本基礎老化学会の賛助会員のご案内】

日本基礎老化学会では、科学研究を通じて高齢化社会に寄与することをめざしています。学会の活性化や会誌の充実に努め、さらに、その基盤の強化をはかるべく、個人や企業を対象にして広く賛助会員を募っています。会費は一口、年 5 万円です。賛助会員には以下の特典があります。

(1) 学会誌「基礎老化研究」冊子体を毎号お送りいたします。

(2) 「基礎老化研究」に広告（A4 半ページ）を年 3 回無料で掲載します。

賛助会員の詳細は学会事務局にお問い合わせください。

【基礎老化研究誌への広告掲載について】

基礎老化研究誌では広告を募集しています。

1 ページ 5 万円で年 3 回掲載します。ご希望の方は学会事務局にメールにてお問い合わせください。

【入退会、休会、住所等の変更、会費等】

入退会、休会、住所変更、会費、その他不明の事がありましたら、遠慮なく事務局へお問い合わせください。また、大学の研究室や職場を離れた会員については、指導教官や上司から事務局へ連絡をいただくと大変助かります。

【退会について】

退会の処理を適切に行うために、下記の事項をお守りください。

(1) 退会の際は、ご自身の署名と捺印のある退会届（書式自由）を事務局までお送りください。急ぎの場合は e-mail による退会手続きも受け付けます。

(2) 日本基礎老化学会の会計年度は 4 月 1 日～翌年 3 月 31 日です。退会が年度途中でも、その年度の「年会費」はお支払いください。退会予定の方は早めにお知らせください。

[目次に戻る](#)

【e-mail について】 (secretariat@jsbmg.jp)

学会事務局と会員の皆様との連絡に e-mail を活用しています。e-mail アドレスを変更した方は、本会事務局宛にお知らせください。協力をお願いいたします。

[目次に戻る](#)

4. 日本基礎老化学会関連行事 今後の開催予定

年会

2022 年

第 45 回 日本基礎老化学会大会

大会長：細川 昌則（京都光華女子大学）

日時：2022 年 7 月 27 日（水）28 日（木）

場所：メルパルク京都（京都市）

2023 年

第 46 回 日本基礎老化学会大会（第 33 回日本老年学会総会 7 学会合同会）

大会長：石神 昭人（東京都健康長寿医療センター）

日時：2023 年 6 月 16 日（金）～18 日（日）

場所：パシフィコ横浜ノース（横浜市）

シンポジウム

2021 年

第 42 回 日本基礎老化学会シンポジウム

世話人：嶋本 顕（山口東京理科大学）

日時：2021 年 11 月 28 日（日）

場所：山口東京理科大学（山陽小野田市）

<https://kiso-rouka-sanyo-onoda-city.peatix.com/event/1953307/view>

2022 年

第 43 回 日本基礎老化学会シンポジウム

世話人：小野 悠介（熊本大学）

日時：2022 年秋

場所：熊本市

市民フォーラム

第 2 回 日本基礎老化学会市民フォーラム

世話人：嶋本 顕（山口東京理科大学）

日時：2021 年 11 月 27 日（土）

場所：山陽小野田市民会館（山陽小野田市）

<https://kiso-rouka-sanyo-onoda-city.peatix.com/event/1953307/view>

***** 関連国際学会 *****

2022 年

The 22nd World Congress of Gerontology and Geriatrics (IAGG 2022)

Date: June 12-16, 2022

Place: Buenos Aires, Argentina

<https://iagg2022.org/home-site/>

2023 年

IAGG2023 Asia/Oceania

Date: June 12-15, 2023

Place: Pacific Yokohama North

http://geront.jp/iagg/pdf/iagg2023_bid_for_yokohama.pdf

2025 年

The 23rd World Congress of Gerontology and Geriatrics (IAGG 2025)

Date: August 3-7, 2025

Amsterdam, Netherland

老化関連の国際会議や海外の老化研究施設をまとめた web site があります。

留学先や海外で開催される老化研究関連学会を探すのにご利用ください；

JenAge Information Center

<https://www.zaj.uni-jena.de/aktuell/aging+meetings+kalender>

5. 会員動向 (2021 年 6 月 23 日現在)

正 会 員：240 名

学生会員：39 名

合 計：279 名

賛助会員：6 団体

6. 賛助会員一覧

下記の諸団体が賛助会員として本学会を支えています。協力を感謝いたします。
賛助会員は随時募集しております。事務局にお問い合わせください。
あなたの会社も賛助会員として老化研究を支えてみませんか？
入会をお待ちしています！

ココロ力株式会社

小林製薬株式会社

大正製薬株式会社

東洋レヂン株式会社

日本水産株式会社

(株) ファンケル総合研究所

[目次に戻る](#)



日本基礎老化学会サーキュラー 第 117 号

2021 年 6 月 25 日発行

日本基礎老化学会

企画・発行 日本基礎老化学会事務局

(編集 三浦ゆり)

〒173-0015

東京都板橋区栄町 35-2

東京都健康長寿医療センター内

Web site: <http://www.jsbmg.jp/>

E-mail: secretariat@jsbmg.jp

[目次に戻る](#)